

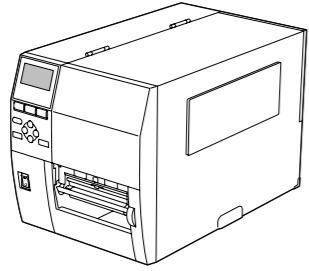


TEC

取扱説明書

テック ラベルプリンタ

B-EX4T3-HS23-S



- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

安全上のご注意(安全にお使いいただくために)

お買い上げいただきました製品(本機)および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

■ 表示の意味

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみが発生が想定される内容を示しています。

- ※1: 重傷とは失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- ※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

- 図記号の例
- △は、注意(警告を含む)を促す事項を示しています。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。
 - ⊘は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。
 - は、必ずしてほしい行為(強制事項)を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

警告

- 定格電圧以外では使用しないこと**
火災・感電の恐れがあります。
 定格以外禁止
- 電源コードは本体付属品を使用すること**
付属品以外の電源コードを使用すると、火災の恐れがあります。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用しないでください。
 専用品使用
- タコ足配線や延長コードを使用した配線はしないこと**
電源容量を超えると、火災・感電の恐れがあります。
 禁止
- 必ずアース(接地)すること**
万一漏電した場合、火災・感電の恐れがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース(接地)を行わないでください。
 アース接続する
- 電源コードを無理に曲げたり、傷つけたり、引っぱったり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと**
電源コードを傷つけると、火災・感電の恐れがあります。万一、電源コードを傷つけたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
 禁止
- 濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないこと**
濡れた手で操作すると、感電の恐れがあります。
 ぬれ手禁止
- 分解や改造、ご自身での修理はしないこと**
火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。
 分解禁止

警告

- 本機の上に液体の入った容器やアクセサリなどの金属類を置かないこと**
こぼれて中に入ると、火災・感電の恐れがあります。
 禁止
- 万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること**
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。
 プラグを抜く
- 本機の内部にクリップなどの金属類、液体、燃えやすい物などを落としたり、差し込んだりしないこと**
配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。
 禁止
- 万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること**
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。
 プラグを抜く
- 本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと**
カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。
 禁止
- 万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡すること**
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。
 プラグを抜く
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと**
火災・感電の恐れがあります。
 水ぬれ禁止
- 製品の周辺で、可燃性のスプレーなどは使用しないこと**
スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になります。
 可燃性スプレー禁止

注意

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込むこと**
確実に差し込まないと、火災・感電の原因となることがあります。
 確実に差し込む
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと**
電源コードを引っぱると、中の芯線が切れたり露出したりして、火災・感電の原因となることがあります。
 プラグを持つ
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃すること**
ほこりがたまる、火災の原因となることがあります。
 ほこりを取る
- 移動するときは、電源コードや他の接続コードを抜くこと**
接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 コードを抜く
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと**
感電の原因となることがあります。
 プラグを抜く
- 長期間使用しないときは安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと**
火災の原因となることがあります。
 プラグを抜く

注意

- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと**
内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 禁止
- 調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと**
絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止
- 本機をキャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをすること**
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 キャスターを止める
- 通風口をふさがないこと**
通風口をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
 禁止
- 本機の上に重い物を置かないこと**
置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。
 禁止

注意

- 冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと**
露がつき、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止
- 本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと**
感電・けがの原因となることがあります。
 禁止
- 本機を移動するときは、必ず2人以上で行うこと**
1人で移動しようとする、けがの原因となることがあります。
 強制
- プリンタのヘッド部および用紙搬送部周辺は、高温になっている場合があるので手を触れないこと**
やけどの原因となることがあります。
 接触禁止
- 取扱説明書で指定する箇所以外のカバーの開閉、点検、清掃、消耗品の交換などはいないこと**
感電・けがの原因となることがあります。
 禁止
- シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーで本機を清掃しないこと**
火災の原因となることがあります。
 禁止

お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

●急激な温度変化を与えないでください。 結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。	
●ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。	
●直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。	
●磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。	
●テレビやラジオの近くでは使用しないでください。 電波妨害を引き起こす原因となります。	
●本機を落としたりぶつけたり、本機に強い衝撃を与えないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。	
●お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。 変質・変形・変色・故障の原因となります。	
●印字した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。 印字内容の判読不能の原因となります。印字面の堅牢性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。	
●当社指定の用紙を使用してください。 当社指定品以外の用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。	指定品使用
●用紙は室温で適度な湿度のところに保管してください。 直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色した用紙を使用すると、印字品質への悪影響や故障の原因となります。	強制
●オプション類は当社純正品(指定品)を使用してください。 当社純正品(指定品)以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。	指定品使用

セキュリティに関するご利用上の注意事項

本製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に本説明をよくお読みください。本製品の管理者には、本製品を管理・運用する上で重要な権限が与えられるため、責任をもって管理を行える方を任命してください。

□ 管理者の方へ

・本製品をインターネットなどの外部ネットワークと接続する場合、設定の不備による情報漏洩や、悪意のある不正なアクセスによる影響を防止するため、別途ファイアウォール等で保護されたネットワーク環境でご利用いただきますようお願い致します。

・必ず組織のセキュリティ方針や手続きを理解し、また本製品の取扱説明書を読み管理・運用方法を理解した上で、組織のセキュリティ方針に基づき、本製品および外部機器の管理・運用を行ってください。また、本製品の利用を許可する一般利用者に、セキュリティ上安全な利用方法を説明し、遵守させてください。

・本製品の一般利用者に対して適切な権限を与え、許可された利用者であることを常に確認してください。

・本製品のセキュリティを保つため、設定されたネットワーク機能・ユーザ管理機能が有効になっているか常に確認してください。異常を発見された場合は、すみやかにサービスエンジニアに連絡願います。

・本製品に接続して使用するコンピュータに搭載されているOSやブラウザ等は、常に最新の状態でお使いください。また、本製品の一般利用者にも遵守させてください。

重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合していません。本機を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っていません。
- 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。

公的規格等について

無線機器(テレビ・ラジオ)の近くでは使用しないでください

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品

本機はRoHS指令(2011/65/EU及び2015/863)の特定有害物質使用制限に対応しています。

用紙の取り付け方

ここでは、本機に用紙を取り付ける手順について説明します。本機ではラベルを印刷することができます。用紙は当社認定の純正品をご使用ください。用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- ・トップカバーは左側へ倒すように全開にすること
中途半端な状態しておくとなしに閉まり、けがの原因となることがあります。
- ・印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

🙏 お願い

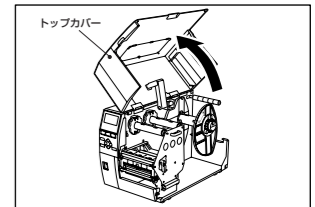
- ・初めて使用する用紙を取り付けるときは、システムモードの「センサー調整」で用紙検出センサーの感度調整を行ってください。
- ・プレ印刷されている用紙を取り付けるときは、スレッシュホールドの設定を行ってください。(→ スタートアップCDROM内の取扱説明書「スレッシュホールドの設定(プリ印刷用紙)」)

📌 補足

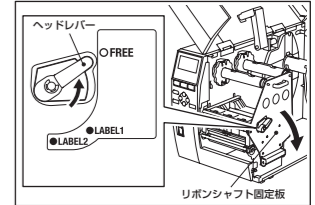
- ・本機は熱転写専用ですので、熱転写用の用紙をお使いください。
- ・当社認定品以外の用紙を取り付けて印字した場合、その結果に対して当社は一切の責任を負いません。
- ・紙管の内径は76.2mmの用紙が使用可能です。

📋 取付手順

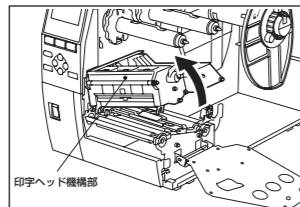
1 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。



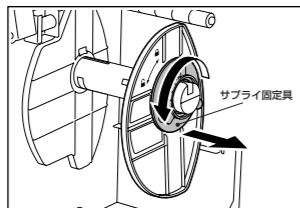
2 ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。



3 印字ヘッド機構部を持ち上げます。



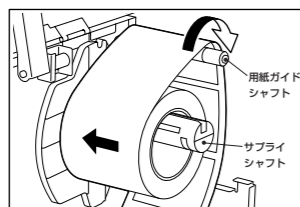
4 サプライ固定具を反時計方向へ半周ほど回して緩め、サプライ固定具をつけたままサプライホルダーを取り外します。



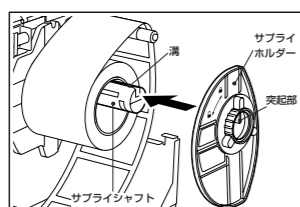
📌 補足

- ・用紙交換時は、使用中の用紙または紙管をサプライシャフトから取り外してください。

5 ロール紙をサプライシャフトの奥までセットし、用紙ガイドシャフトの後方に用紙を通します。



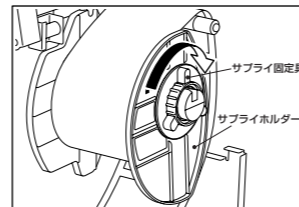
6 サプライシャフトの溝にサプライホルダーの突起部を合わせ、サプライホルダーをサプライシャフトに押し込みます。サプライホルダーを押し込むと、用紙がセンターの位置へセットされます。



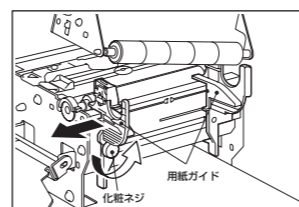
7 サプライ固定具を時計方向に回し、サプライホルダーを固定します。

🙏 お願い

- ・サプライ固定具はきつく締めつけないでください。締めすぎると、ネジ山が破損する原因となります。



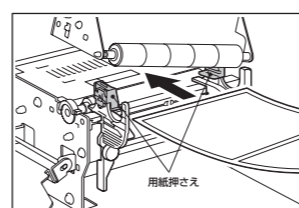
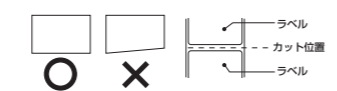
8 用紙ガイドの化粧ネジを緩め、用紙ガイドを用紙の幅より少し広目に広げます。



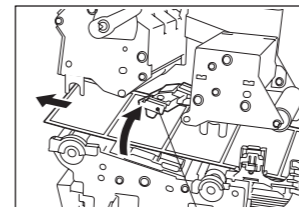
9 用紙の先端を、用紙ガイドについている用紙押さえ(黒い部品)の下に通します。

🙏 お願い

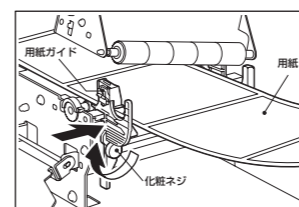
- ・ラベルの場合は、ラベルとラベルの間の台紙部をまっすぐに切りそろえてください。



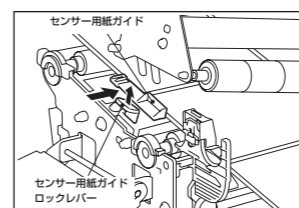
10 用紙センサー部を持ち上げ、用紙を発行口まで送り出します。



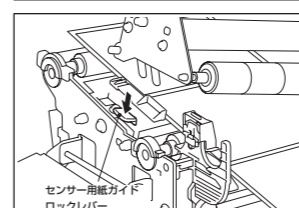
11 用紙ガイドを用紙にぴったり合わせ、化粧ネジを締めて固定します。



12 センサー用紙ガイドロックレバーを持ち上げ、センサー用紙ガイドを動かして用紙の端に合わせます。



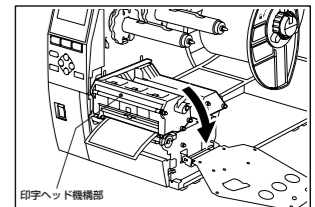
13 センサー用紙ガイドロックレバーを押し下げてセンサー用紙ガイドをロックします。



14 用紙センサー部と印字ヘッド機構部を下げ、必要な場合は用紙検出センサーの位置を調整します。調整手順は「用紙検出センサーの位置調整について」をご参照ください。

📌 補足

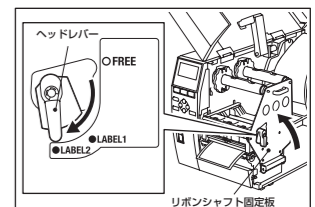
- ・用紙検出センサーの位置を調整する場合は、リボンを取り外してください。リボンがセットされていると調整しにくくなります。



15 リボンシャフト固定板をセットし、ヘッドレバーをLABEL2の位置に回して印字ヘッド機構部を固定します。

📌 補足

- ・LABEL1位置でヘッドレバーを固定して使用しないでください。LABEL1の位置では適切に印字が出来ません。



16 トップカバーを静かに閉めます。

用紙検出センサーの位置調整について

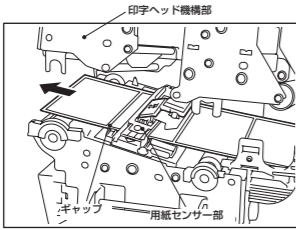
用紙検出センサーの位置は、次の手順に従って調整して下さい。
用紙検出センサーには、ラベルとラベルの間(ギャップ)を検出する透過センサーと、用紙の裏側に印刷された黒マークを検出する反射センサーがあります。
用紙検出センサーを正しい位置に調整しないと、本機は用紙を発行できず、『紙送りエラー』メッセージを表示してエラーとなります。

注意

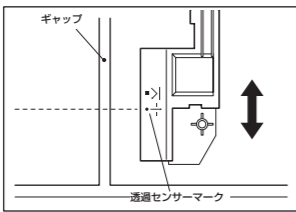
- ・トップカバーは左側へ倒すように全開にすること
中途半端な状態にしておくとなし、けがの原因となることがあります。
- ・印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

透過センサーの位置調整

- 透過センサーの位置マーク(●→)の手前にギャップが現れるところまで、用紙を動かします。

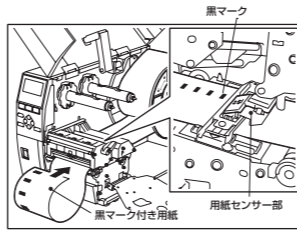


- 用紙センサー部を手で動かし、透過センサーの位置マーク(●→)が確実にギャップの上を通る位置に合わせます。

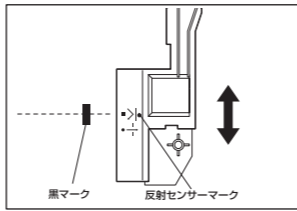


反射センサーの位置調整

- 用紙を約50cmほど引き出し、黒マークが上を向くように折り返します。



- 反射センサー位置マーク(■>)の手前に黒マークが現れるところまで、右図のように用紙を後方へ送り込みます。



- 用紙センサー部を手で動かし、反射センサーを黒マークの中心線上に合わせます。

リボンの取り付け方

本機は、印字ヘッドの熱でリボンのインクを溶かし、用紙に定着させる熱転写印字方式に対応しています。

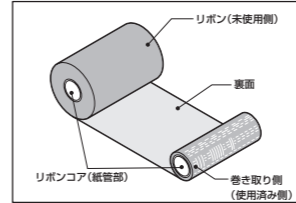
リボンは用紙幅に対応した、当社認定の純正品をお使いください。
ここでは、本機にリボンを取り付ける手順について説明します。

注意

- ・トップカバーは左側へ倒すように全開にすること
中途半端な状態にしておくとなし、けがの原因となることがあります。
- ・印字直後は、印字ヘッドおよびその周辺部に手を触れないこと
やけどの原因となることがあります。

お願い

- ・リボンには裏と表(インク面)がありますので、注意して取り付けてください。逆に取り付けて印字すると、印字できないばかりか、印字ヘッドの交換(有償)が必要になります。
- ・途中まで使用したリボンの未使用側/使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合、径の太い方が未使用側です。
- ・リボンのインクが手に付着したときは、石鹸等で手を洗ってください。インクには有害物質を含んでいないため、人体には無害です。



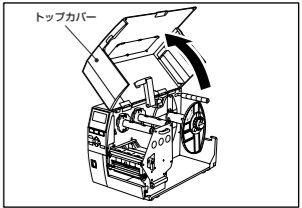
補足

- ・当社認定品以外のリボンを取り付けて印字した場合、当社は一切の責任を負いません。
- ・用紙幅に最適な幅のリボンを用意しています。お買い上げの販売店にご注文ください。

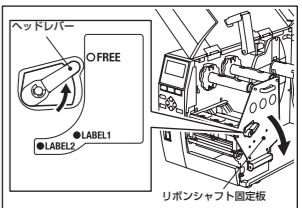
リボン幅	対応可能な用紙幅	台紙幅
60mm	13～53mm	25～55mm
90mm	53～83mm	55～85mm
110mm	83～103mm	85～105mm
115mm	103～108mm	105～110mm

リボンを取り付ける

- 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。



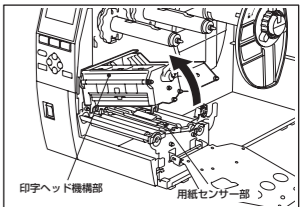
- ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。



補足

- ・リボン/用紙経路ステッカーは、トップカバーの内側に貼付されていますので参照してください。

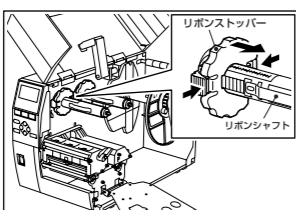
- 印字ヘッド機構部を持ち上げます。



補足

- ・用紙センサー部を持ち上げないでください。リボンがセットできません。

- リボンシャフト上の目盛りを参考に、取り付けるリボンの幅に両方のリボンストッパーを合わせます。

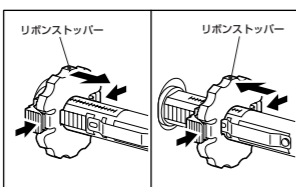


補足

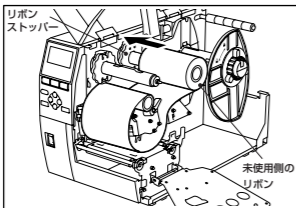
- ・リボンは用紙の幅にあったものをお使いください。
- ・リボンと用紙の幅方向中心が揃うようにリボンの位置を微調整してください。

お願い

- ・リボンストッパーを左右に移動するときは、リボンストッパー左右のノブを内側に押してそのまま左右に動かしてください。



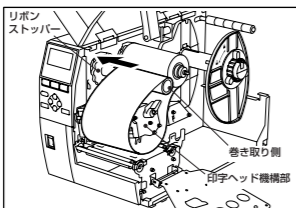
- 未使用側のリボンを後方のリボンシャフトへ差し込み、リボンストッパーの位置まで押し込みます。



補足

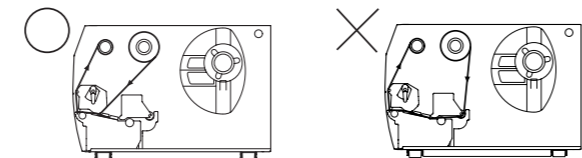
- ・リボンを押し込むときは、リボンの紙管部を押し込んでください。
- ・リボンは巻が乱れやすく広がりやすいため、取り付けるときは手でしっかり持ってください。

- リボンを印字ヘッド機構部の下側へ通し、巻き取り側の紙管部を手前のリボンシャフトへ差し込み、リボンストッパーの位置まで押し込みます。

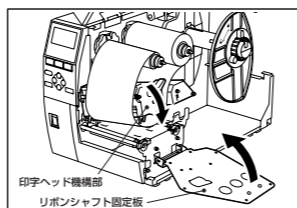


お願い

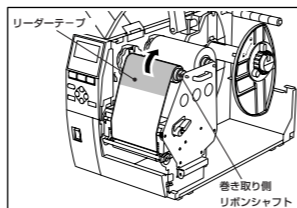
リボンは正しい経路を通してください。



- 印字ヘッド機構部を下げ、リボンシャフト固定板をセットします。



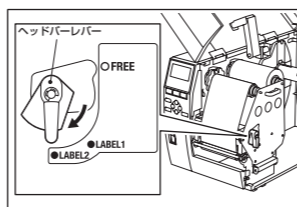
- 巻き取り側のリボンシャフトを時計方向に回し、リボンのリーダーテープ部を完全に巻き取ります。また、リボンのタルミヤシフも取り除いてください。



お願い

- ・リボンのタルミヤシフを取る時は、必ず印字ヘッド機構部を下げた後から行ってください。上げたまま行くと、リボンが切れる原因となります。

- ヘッドレバーをLABEL1またはLABEL2位置へ回し、印字ヘッド機構部を固定します。

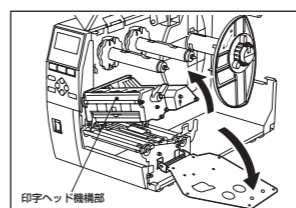


- トップカバーを静かに閉めます。

日常のお手入れ

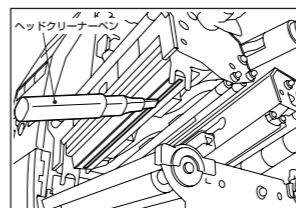
印字ヘッド/プラテンの清掃

- 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。



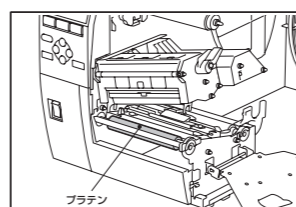
- ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。

- 印字ヘッド機構部を持ち上げ、用紙やリボンを取り外します。

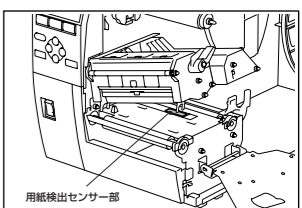


- 印字ヘッドの発熱部(網掛け部分)の汚れは、付属のヘッドクリーナーペンで拭き取ります。

- プラテンの汚れは、少量の消毒用エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。



- 用紙検出センサー部の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。



お願い

- ・印字ヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- ・シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。
- ・印字ヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、印字ヘッドが破損することがあります。

仕様

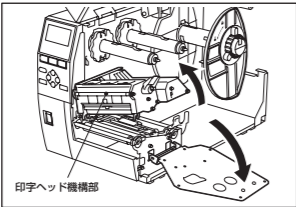
本機の仕様

項目	仕様
型式	B-EX4T3-HS23-S
定格電源	交流100V～240V 50/60Hz
消費電力	印字中:110W (印字率20%時) 待機中:4.3W (パワーセーブ時) 9.0W以下(印字待機時) 5～40℃
使用温度範囲	25～85℃ (ただし、結露しないこと)
印字方式	熱転写方式(リボン転写)
印字ヘッド密度	23.6ドット/mm (600dpi)
印字速度	50.8mm(2ｲﾝﾁ) / 秒、76.2mm(3ｲﾝﾁ) / 秒、101.6mm(4ｲﾝﾁ) / 秒、127mm(5ｲﾝﾁ) / 秒、152.4mm(6ｲﾝﾁ) / 秒…切換式 ^{*1}
発行モード	連続発行/剥離発行(オプション)/カット発行(オプション)
表示方式	128 x 64 ドットグラフィックLCD 最大21桁 x 5行
表示文字	英字、漢字、数字、カタカナ、記号
有効印字幅	最大104mm±0.2mm
印字可能文字種	英/数/カナ *1: ㍻、㍺、㍽、㍾、㍿、㏀、㏁、㏂、㏃、㏄、㏅、㏆、㏇、㏈、㏉、㏊、㏋、㏌、㏍、㏎、㏏、㏐、㏑、㏒、㏓、㏔、㏕、㏖、㏗、㏘、㏙、㏚、㏛、㏜、㏝、㏞、㏟、㏠、㏡、㏢、㏣、㏤、㏥、㏦、㏧、㏨、㏩、㏪、㏫、㏬、㏭、㏮、㏯、㏰、㏱、㏲、㏳、㏴、㏵、㏶、㏷、㏸、㏹、㏺、㏻、㏼、㏽、㏾、㏿、 漢字 16x16、24x24、32x32、48x48 (角ゴシック) 24×24、32×32 (明朝) 外字 16x16、24x24、32x32、48x48*1…各1種 フリーサイズ…40種 その他 アウトラインフォント(英数字)…5種、価格フォント…3種
印字可能バーコード	JAN8/13、EAN8/13/128、UPC-A/E、NW-7、CODE39(数字+*)/7*7*、93/128、ITF、MSI、インダストリアル2of5、RM4SQC、KIX code、GS1 Databar (2of5*1*含む)、カスタマーバーコード、POSTNET
印字可能二次元コード	Data Matrix PDF417、QRコード、Micro QRコード、Maxicode、Micro PDF417、CPコード、GS1 QRコード
インターフェース	USBポート×1 (V2.0準拠/V2.0フルスピード対応) LANポート×1 (10BASE-T/100BASE-TX準拠) USBホスト×1 (USB V2.0準拠/フルスピード対応) シリアルポート×1 (RS-232C準拠) …………… D-Sub 9*2 *2 パラレルポート×1 (セントロニクス準拠) (4*7*2) …………… プラットフォーム 36*2*2
外形寸法	278mm(幅) x 460mm(奥行) x 310mm(高さ)
質量	約17.0kg
オプション(別売)	ディスクカッターモジュール(B-EX204-QM-R) 剥離モジュール(B-EX904-H-QM-R) パラレルインターフェースボード(B-EX700-CEN-QM-R) 拡張IOボード(B-EX700-IO-QM-R) 高精細剥離モジュール(B-EX904-HH-R)

*1: ご使用のサプライの組み合わせにより印刷できる速度に制限があります。

用紙搬送部の清掃

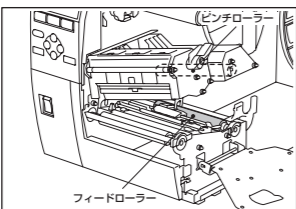
1 電源スイッチをOFFにし、トップカバーを左側へ倒すように全開にします。



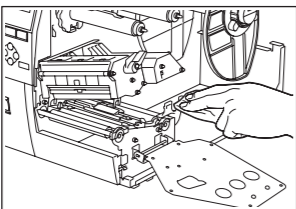
2 ヘッドレバーをFREE位置まで回し、リボンシャフト固定板を静かに右側へ倒します。

3 印字ヘッド機構部を持ち上げ、用紙やリボンを取り外します。

4 ピンチローラーやフィードローラーの汚れは、少量の消毒用エタノールを含ませた柔らかい布で拭き取ります。



5 用紙搬送部の紙粉や汚れは、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



お願い

- ピンチローラーやフィードローラーを鋭利なもので傷つけないでください。印字不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印字不良や故障の原因となります。

25

リボンの仕様

リボンは当社認定の純正品をご使用ください。

リボンのご用命につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

タイプ	スプールタイプ
リボン幅	40±1mm～115 (mm)
	(mm)
	リボン幅 60 90 110 115
	適用用紙幅(台紙幅) 25～55 55～85 85～105 105～110
最大リボン長	300m
最大ロール径	φ70mm
巻き方向	外巻き

お願い

- 用紙やリボンは高温、多湿をきらいますので、涼しい場所に保管してください。
- 用紙やリボンにホコリや紙粉が付かないように気を付けてください。
- リボンを廃棄する場合は、各自治体の条例等に従って処分してください。法律上は「廃プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として処分してください。ただし、コア(紙管部)は段ボールとして分別処分してください。

補足

- 当社認定品以外の用紙やリボンを使用して印字した結果につきましては、本体も含めて保証の範囲外とさせていただきます。
- 用紙やリボンの詳細につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- リボン幅と用紙幅が同じ、もしくは差が少ない場合、シワが発生する場合があります。用紙幅にあったリボンをお使いください。
- リボンの幅方向中心が用紙の幅方向中心からずれている場合、シワが発生することがあります。シワが発生した場合は、リボンストッパーの位置を微調整してリボンの中心を用紙の中心に合わせてください。
- ご使用リボンの幅によってはリボンモーターの電圧補正が必要になる場合があります。幅の狭いリボンを使用した場合にリボンの巻取り側トルクが強いとリボンシワが発生しますので、システムモードの微調整設定メニューで巻取り側モーター電圧をマイナス方向に、送り側をプラス方向に微調整してください。

29

用紙の仕様

本機で使用できる用紙はラベルのみです。

用紙は当社認定の純正品をご使用ください。

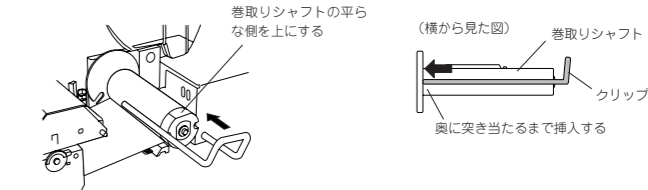
用紙のご用命および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
(単位:mm)

項目	発行モード		
	連続発行	剥離発行	カット発行
用紙長(ピッチ)	5.0～500.0	5.0～256.0	25.0～500.0
ラベル長	3.0～498.0	3.0～254.0	3.0～497.0
台紙幅	25.0～110.0	50.0～110.0	25.0～110.0
ラベル幅	13.0～108.0	27.0～108.0	13.0～108.0
ギャップ長	2.0～20.0		3.0～20.0
黒マーク長	2.0～20.0		3.0～20.0
最大有効印字幅	104.0±0.2		
有効印字長	3.0～498.0	3.0～254.0	3.0～497.0
スローアップ・ダウン区間における非印字領域	スローアップ	1.0	
	スローダウン	1.0	
用紙厚さ	0.13～0.17		
オンザフライ発行可能な最大有効印字長	249.0		
最大ロール径	φ200		
紙管の内径	φ76.2±0.3 (標準) / 50.8		
巻き方向	内巻き(標準) / 外巻き		

オプション使用時の注意事項

- 各オプションを組み込む前にプリンタの電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源がONの状態を組み込むと、火災・感電・けがの恐れがあります。また、プリンタ内部の電気回路保護のため、プリンタの電源OFF後1分以上経過してからケーブルの着脱を行ってください。
- カバーで指や手を挟まないように注意してください。
- 印字直後は、印字ヘッド、ステッピングモーターおよびその周辺部に手を触れないでください。やけどの原因となります。
- ラベル自体をカットして発行することは避けてください。紙詰まりや故障の原因となります。また、カッターの寿命を短くする原因となります。
- ミシン目を入れたラベル用紙を使用する場合は、お買い上げの販売店に詳細をお問い合わせください。
- カット発行時、用紙がプラテンに巻き込まれる場合は、パラメータ設定の「自動正転待機」を「する」に変更してください。
- カッターモジュールの取り付け・清掃時、カッターの刃に直接触れないでください。
- 剥離モジュールを装着してラベル用紙を剥離発行する場合、ラベルや台紙の材質によっては正しくラベルを剥離できないことがあります。ラベルや台紙の材質の詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 剥離モジュールの巻取りシャフトに直接用紙や台紙を巻きつけ、クリップで留める場合、次のことに注意してください。

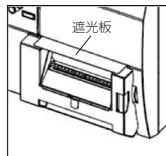
- 巻取りシャフトに対して、下図の向きにクリップを挿入してください。
- クリップは必ず奥まで確実に挿入してください。



- 剥離モジュールの巻取りシャフトに印刷した用紙を巻き取る(リワインダーモード)場合、ラベルの材質やセットの仕方によってはきれいに巻き取れない場合がありますので注意してください。

高精細剥離モジュールをお使いいただく時の注意点

照明が明るすぎる場所、または直射日光が当たる場所で剥離発行を行うと剥離センサーが機能せず、ラベルが発行されないことがあります。このようなときは、証明を若干暗くするか、図のように遮光板を剥離ユニットに取り付け、剥離発行してください。遮光板が必要な際は、販売店にお問い合わせください。



28